

神奈川県中学校ソフトテニス大会出場規定

神奈川県中学校体育連盟ソフトテニス専門部
2019年4月改定

1 選手

I 資格

- 各大会の「出場承認書」により登録された選手。
「出場承認書」は受付時まで大会本部に提出する。
- 審判ができる選手。

II エントリー

- (個人戦) 各ブロックより提出された、「出場申込書」に記載のある選手とする。
- (団体戦) 大会当日受付にて配布される「オーダー表」の初対戦の登録メンバー8名までを登録選手とする。「オーダー表」は「出場承認書」に記載どおりの選手名を出場順に記載し、フルネームで登録する。延期措置等があった場合のエントリーについては、大会委員長及び競技委員長が判断する。

III 選手変更

- 受付時に大会本部に変更選手の「出場承認書」を提出する。
- 変更選手がすでに「出場承認書」に記名されている場合は、監督が申し出る。
(個人戦)・・・1名の場合は当該校より、エントリーされていない選手を補充出場させる。2名とも出場不可能になった場合は棄権とする。1校から2ペア以上エントリーされているとき、2ペアの各1名ずつ出場不可能になった場合には、それぞれのペアに、エントリーされていない選手を補充するか、どちらかのペアを統合して1ペアをつくり、残りのペアを棄権とするかのどちらかとする。なお、棄権とするのは予選の順位が下位のペアとする。また、大会前日まではブロック内での補充を認める。
(団体戦)・・・チーム内については個人戦と同様。学校として出場不可能になった場合は棄権とする。

IV 服装

①ウェア

- 公認のテニスウェアとする。ただし、服装は華美にならないようにし、「⑤表示」以外で、文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
 - ・上は襟付き・半袖のポロシャツ。
 - ・下はショートパンツ、スカートまたはハーフパンツを着用すること。

- 競技中、シャツの裾を外に出したり、袖をまくったりしない。

②帽子・はちまき等

- 文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
 - ・学校名、氏名の記入は端にする。

③靴下

- 長さについては、くるぶしより上でシューズを履いた状態でどこから見ても履いていることがわかる長さとする。ハイソックスは認めない。

④靴

- テニスシューズとする。シューズや靴紐の左右を色違いにするなどは認めない。

⑤表示

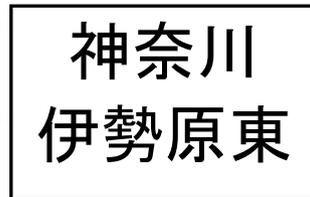
- ウェアの背中に「学校名」をゼッケンまたは背面プリントで、横書きで表示する。
 - ・「神奈川または地区名」及び、学校名が東・西・南・北中学校のような場合には、学校名をわかりやすくするために、地区名を付記してもよい。(例Ⅰ、例Ⅱ)
 - ・大きさは、スタンド等に見やすいものとする。文字については極端にデザイン化しないものとする。
- ※関東大会・全国大会に準ずるゼッケンも可とする。(例Ⅲ)

関東大会・全国大会の規定(昨年度参考抜粋)

- ①ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布に都県名、姓、学校名を記述する。都県の「都県」の文字はつけないものとする。
- ②ゼッケンの文字は「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- ③都県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために中学校名の表記の工夫をしてもよい。
- ④同一校に同姓の選手がいる場合には、どちらかの選手が名前の一部も付け加える。(例Ⅳ)
- ⑤中学校名が、第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には、学校名をわかりやすくするために学校所在地を付記してもよい。
- ⑥学校名が「〇〇中学校」の場合は「〇〇中」と表記し、それ以外の「〇〇学園中等部」等の学校については、「中」をつけずに、適当な表記で表現する。



〈例Ⅱ〉



(伊勢原市立東中学校)

〈例Ⅲ〉

神奈川県 田中 荻野中	1/4 都県名 (都県は不要)
	2/4 姓
	1/4 中学校名 (中の文字をつける)

〈例Ⅳ〉



⑥その他

- 試合に不必要な装飾品などはつけてはならない。
- 身につけるものはすべて華美にならないようにする。

2 監督・コーチ

I 資格

- 監督は1名とし、出場校の校長、教員、部活動指導員が務める。
- コーチは出場校の校長、教員、部活動指導員または地域指導者が務める。
 - ・部活動指導員は、県中体連に所定の用紙で報告をしている者とする。
 - ・地域指導者は、同一大会において2校以上のコーチを務めることはできない。
なお、県総体及び県選手権では、本部配付のコーチ証をつける
(★地域指導者の要件については別途規定する)
 - ・個人戦において、複数ペアが出場している場合は、出場ペア数以内で、複数のコーチの登録を認める。

II 引率・受付

- 出場校の校長、教員、部活動指導員が引率し受付を行う。(選手および保護者による受付は認めない)
 - ・(引率者の特例) 神奈川県中学校体育連盟主催大会および共催大会で県内で開催する大会を対象とし、大会参加に当たって、校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむをえないと判断した場合に限り、運動部活動における地域指導者の引率についての規定および神奈川県中学校体育連盟監督・引率に関する規定により、校長が引率者とした地域指導者の引率を認める。
- 地域指導者が大会に参加するときはベンチ入り申請書を提出し大会本部の許可を得る。

III 登録

- 団体戦においては、大会当日受付時に配付される「オーダー表」の初対戦に記載された「監督」・「コーチ」それぞれ1名をその日の登録とする。
 - ・監督変更のときは、地区の専門委員を通して変更届を提出し大会本部の許可を得る。

IV 服装

- ベンチ入りする場合は、テニスシューズを履き、スポーツウェアを着用する。
- 監督は監督証、コーチはコーチ証を必ずつける。 〈例〉
 - ・サイズは名刺大またはハガキ大(15cm×10cm)の横長とする。



V ベンチ入り

- 監督は特別な事情がない限りベンチ入りする。
- 監督以外にコーチ1名のベンチ入りを認める。
 - ・監督が特別な事情でベンチ入りできない場合および個人戦において複数ペアが同時に出場している場合は、コーチのみのベンチ入りも認める。
 - ・団体戦においてベンチ入りする者は、選手とともに整列し、挨拶をする。

3 中止措置

- 対戦中に雨天等で大会を中止・延期または中断する場合は、大会委員長及び競技委員長が判断する。
 - ・天候その他の事情でマッチの途中で延期になった場合は、その最後の得点から引き続き再開することを原則とする。
 - ・トスのみを行い、待機していたマッチについては、トスの結果は有効とする。ただし、サイドの選択は改めて行うことができる。
 - ・コートを変更したり、後日再開されたりする場合のサイドは、そのマッチでサイドを選択した組が選ぶものとする。
 - ・同日同一コートで再開の場合は中断前のままとする。

★地域指導者の要件

- 地域指導者とは、校長が『人格・指導面において認めた成人』または、『県・市・町・村の派遣事業で認められた成人』であり、学校の教育方針に基づき顧問教員の指導計画に従い、顧問と協力し、日ごろから指導に当たることができる者。ただし、他校の校長・教員・職員は地域指導者としての資格はない。

☆参考 ウェア公認メーカー

- ・2019年4月1日現在（日本ソフトテニス連盟ホームページより）
(株)カワサキ ミズノ(株) ヨネックス(株) (株)ゴーセン アシックスジャパン (株)

ナイキジャパングループ合同会社 住友ゴム工業(株) 昭和ホールディングス(株)

アディダスジャパン(株) グローブライド(株) (株)ニューバランスジャパン (株)ディーエムアール

プーマジャパン(株)
- ・2018年1月1日現在（日本ソフトテニス連盟ホームページより）
(株)カワサキ ミズノ(株) ヨネックス(株) (株)ゴーセン アシックスジャパン (株)

ナイキジャパングループ合同会社 住友ゴム工業(株) 昭和ホールディングス(株)

(株)ゴールドウィン アディダスジャパン(株) グローブライド(株) (株)ニューバランスジャパン

(株)ディーエムアール
- ・2017年1月1日現在（日本ソフトテニス連盟ホームページより）
(株)カワサキ ミズノ(株) ヨネックス(株) (株)ゴーセン (株)アシックス

ナイキジャパングループ合同会社 ダンロップスポーツ(株) 昭和ホールディングス(株)

(株)ゴールドウィン アディダスジャパン(株) グローブライド(株) (株)ニューバランスジャパン